

第42回日本血液事業学会総会
総会長 中 島 一 格

第42回日本血液事業学会総会会告(2)

第42回日本血液事業学会総会を下記のとおり開催いたします。会員の皆様には多数ご発表、参加いただきますようご案内申し上げます。

記

【会 期】	平成30年10月2日(火)・3日(水)・4日(木)
【会 場】	幕張メッセ 国際会議場
【テ ー マ】	『持続と変革—カイゼンの先への挑戦—』
【学会 HP】	http://www.med-gakkai.org/jsbp42/

- 1 総会長講演
血液事業の持続と変革
- 2 特別講演
 - (1) 人道と血液事業—国際赤十字・赤新月社連盟会長の8年間を振り返って— (仮)
 - (2) CAR-T 細胞療法—新しいがん治療の夜明け—
 - (3) AIの進歩—AIは医療を変えるか?—
- 3 教育講演
 - (1) 健康的な業務パフォーマンスを発揮するために
—アンガーマネジメントの視点から学ぶ—
 - (2) HLA 適合血小板の輸血効果について
 - (3) 血液型の歴史
 - (4) 血液事業運営の変革
 - (5) 品質リスクマネジメント
- 4 シンポジウム
 - (1) 医療制度の変革と医療技術の進歩に血液事業はどのように向き合うか
 - (2) 血液事業の将来を拓く新規事業と研究開発
 - (3) 供給体制の変革—医療機関との連携—
 - (4) 献血者と患者をつなぐ“キズナ”
 - (5) 血液事業の国際協力—総括と展望—
 - (6) 血液事業のBCP—今、首都直下地震が発生したら!—
 - (7) 血小板輸血の安全確保対策
- 5 ワークショップ
 - (1) 採血部門の人材育成—求められる役割と課題—
 - (2) 血液型検査の進歩と課題
 - (3) ドナーケアより安全な献血に向けて—
 - (4) 製造部門における現状と課題、将来展望
 - (5) 次世代につなぐ献血推進

6 特別企画

(1) 改善活動本部長賞候補演題

(2) ブロック血液センター所長推薦優秀演題

血液センター会員から演題登録された一般演題中、所属の血液センターで優秀と考えられる演題1題を各ブロック血液センター所長へ推薦していただき、各ブロック血液センター所長に自施設の優秀演題と併せて、それらの中から2～3演題を選考していただきます。その後、各ブロック血液センター所長から推薦された演題について、プログラム委員会ブロックごとに1題の優秀演題を決定させていただきます。

(3) 土地の魅力を味わうーやまなしワインの魅力ー

7 共催（ランチョン・ティータイム）セミナー

学会期間中の昼および午後の時間帯に、共催セミナーを開催します。

ランチョンセミナーについては、当日の朝、1名につき1枚の整理券を配布いたします。会場に入る際、整理券を提出し、お弁当をお受け取り下さい。

ティータイムセミナーについては、整理券を配布いたしません。会場に入る際、軽食とお飲物を、先着順にて配布いたします。配布終了後も、お席にはお座りいただけます。

8 一般演題

口演発表またはポスター発表のいずれかといたします。なお、発表形式は変更させていただく場合もありますのでご了承ください。

発表要項および発表日程はホームページでお知らせいたします。

(1) 口演発表は7分、討論3分を予定しています。

(2) ポスター発表は、座長による掲示前での移動検討形式で行います。発表時間4分、討論2分を予定しています。

(3) 一般演題からワークショップに変更させていただく場合があります。

9 発表演題の提出

(1) ブロック血液センター所長推薦優秀演題、特別講演、教育講演、シンポジウムおよびワークショップの演者は、発言内容（演題名、所属、氏名）を含めて和文3,200字以内（図表、写真等は1点400字に換算）の発表論文を総会終了後、4週間以内に運営事務局まで提出してください。

(2) 一般演題は予め発表論文を作成する必要はありませんが、一部の演題について総会終了後、機関誌「血液事業」編集委員長から論文としての投稿推薦を当該演者あてにお願いする場合があります。

10 関連行事

会員交見会

日時 平成30年10月3日（水）18:00より

場所 幕張メッセ国際会議場2階 コンベンションホール

11 プログラム編集

下記の方々にプログラム委員をお願いいたしました。

入田 和男、清水 博、高橋 孝喜、高松 純樹、千葉 広一、
椿 和央、中島 一格、藤村 吉博、牟禮 一秀

（敬称略、50音順）